

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2018～2019年度 国際ロータリー バリー・ラシン 会長テーマ

BE THE INSPIRATION インスピレーションになろう

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 文三郎
幹事 豊田 貴久
会報委員長 磯部 一智

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3029回例会プログラム

[当年度=14回目；当月=1週目]

2018年（平成30年）11月5日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/12) ……
職場例会（職業奉仕委員会）
12:30～ 例会（刈谷商工会議所）
13:05～ 見学
(「トヨタ創業期試作工場」
愛知製鋼株式会社刈谷工場内)
- (11/19) ……
クラブフォーラム(ロータリー財団委員会)
卓話「ロータリー財団 今、やるべきこと」
講師 地区奨学基金・
平和フェロウシップ委員会
委員長 長谷川龍伸 様
(名古屋丸の内 RC)
(紹介者 新海 伸二 会員)
※健康診断（職業奉仕委員会）

- 13:00 15. 本日のプログラム
卓話 「八丁味噌の歴史を守り続ける」
講師 株式会社まるや八丁味噌
代表取締役 浅井信太郎 様
(紹介者 加藤大志朗 会員)

16. 謝辞

17. 点鐘……………〈会長〉

18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

出席

会員総数 97名 出席免除 25名
出席義務者+免除者の内例会出席者 93名
欠席 13名 出席率 86.02%
前々回(10/22)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 2019～2020年度、第1回次期理事役員候補者指名委員会を開催しました。委員は
- | | | |
|----|-------|----------|
| 委員 | 塚本 幸夫 | (会長経験者) |
| 委員 | 鈴木 豊 | (会長経験者) |
| 委員 | 杉浦 芳一 | (会長経験者) |
| 委員 | 加藤 真治 | (会長経験者) |
| 委員 | 加藤 哲也 | (会長経験者) |
| 委員 | 吉原 孝彦 | (直前会長) |
| 委員 | 鈴木文三郎 | (会長) |
| 委員 | 室殿 豊 | (副会長) |
| 委員 | 杉浦 文雄 | (会長エレクト) |
| 委員 | 豊田 貴久 | (幹事) |
| 委員 | 神谷 強 | (副幹事) |
- 以上11名
- です。委員会において委員長 塚本幸夫会員に決定した事をご報告します。
- ※会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦がございましたら、11月29日(木)までに、指名委員にお申し出下さい。

会長あいさつ

鈴木文三郎



企業のブランド価値についてお話します。ブランドと言って思い浮かぶのは、エルメスやシャネルといった、ファッションブランドではないでしょうか。同じハンドバッグでも、これらのブランドが付くことによって、価格は数倍から数十倍になります。その価値を認めて、高いのを承知で、むしろ高いからこそ購入するユーザーがいるということです。

最近では、あらゆる業界・業種において企業のブランディングの重要性が叫ばれています。では、ブランディング、ブランド価値とは一体何なのでしょう。

ブランド力のある企業は、顧客に選ばれる企業、そして従業員に選ばれる企業、さらに社会に選ばれる企業であると思います。それも、現在の顧客、従業員、社会のみならず、未来の顧客、従業員、社会に選ばれる企業となることによるのみ、その企業の存続が叶えられるといっても良いでしょう。

選ばれるためには、単にその企業が提供する製品が良いというだけでは不十分です。社会への取り組みを通じて評価を高め、企業の発展性を高めることこそが、地域・グローバルを問わず企業間競争を生き抜くための強力な推進力になるはず。

社会への取り組みは、CSR 活動と言えます。日本では CSR すなわち corporate social responsibility を「企業の社会的責任」と訳したために、偉そうに押しつけがましい。などと誤解を生んでいる部分もありますが、responsibility は response (対応する) と ability (能力) から成り、原義は「対応力」です。従って、CSR は本来「企業の社会対応力」と訳すことでじっくりくると思います。

それでは、どの様な CSR 活動をすれば良いかと言えば、様々な社会的課題を自社の経営資源や本業の強みを生かして解決していくことです。社会的課題とは、人権、環境、温暖化、貧困、教育、障がい者、ダイバーシティなどありとあらゆる課題の中から、自社にあった課題に取り組みれば良いと思います。また、取り組みに当たっては出来るだけ外部他者との協働によるパートナーシップを組むと良いと思います。

企業側から見た CSR 活動の最大の目的は「企業価値を高めること」ですが、逆に社会からの視点で見ると「社会的課題の解決のために企業のサポートを得る」こととなります。

我々がロータリークラブで行っている奉仕活動は、企業に置き換えるとまさに CSR 活動と言えます。ロータリーの奉仕活動を通じて、是非皆さんの企業価値を高めるヒントをつかんでいただきたいと思います。

還暦のお祝い

鈴木 一正 会員

お祝い

11月の会員の誕生日…加藤哲也、小河俊文、河内利夫、鈴木一正、丹羽克誌、横山昌幸、永利謙介会員。

配偶者の誕生日…霜出恵子（俱弘）、神谷登志子（光義）、堀康子（正剛）、太田典子（宗一郎）、鈴木友子（一正）、市川嘉子（裕大）、深谷眞理（嘉英）、關香（淳之）様。

結婚記念日…羽田育哉、霜出俱弘、塚本幸夫、山本直、竹内一正、鈴木文三郎、小川耕示、佐野彰彦、盛田高史会員。

11月度入会記念日…堀正剛、大音祖瑛、山下雅則、吉岡秀記会員。

卓話

「八丁味噌の歴史を守り続ける」

株式会社まるや八丁味噌
代表取締役 浅井信太郎 様



弊社(株)まるや八丁味噌は1337年創業で、八丁味噌という名称の起源は1600年代江戸時代初期と言われています。徳川家康公の生誕の地である岡崎の味噌が江戸に運ばれた際、その味噌が岡崎城から西八丁の距離(約800m)にある旧八丁村の味噌蔵

で造られていたことから、地名「八丁村」と製品名「味噌」と呼ばれた来りました。

八丁味噌は江戸時代から2軒の味噌蔵で造られ、旧東海道の北側に早川久右衛門家、もう1軒は旧東海道の南側に構える大田弥治右衛門家。これが当社です。

- ①杉材の6尺木桶で約6000kgを仕込み。
- ②仕込み量の2分の1約3000kg以上の川石を木桶に円錐状に積み上げる。
- ③二夏二冬以上の天然醸造。

2社が長年守ってきた八丁味噌の製法の概略です。

ところが、突如2017年12月15日農水省の「地理的表示(GI)の保護制度」で岡崎の2社の八丁味噌を登録から外し、製法が大きく違う豆味噌を八丁味噌として登録しました。

農水省ガイドラインの大前提は「地域に争いがある場合は登録しない」でした。岡崎市、岡崎商工会議所、八丁味噌協同組合が反対の意見書を提出し、地域に争いがあることを証明しながらも、僅か半年で登録したのです。その結果、岡崎の2社は7年後には国内外で「八丁味噌」の名称が使用できなくなる可能性と輸出ができなくなる可能性が出てきました。

八丁味噌の差違をまとめた表

	本件登録に係る 八丁味噌	請願者の八丁味噌
生産地	愛知県	愛知県岡崎市八帖町 (旧八丁村)
原材料	大豆、塩、水	大豆、塩、水のみ
味噌玉	直径20mm以上、 長さ50mm以上	握り拳ほどの大きさ
熟成期間	一夏以上熟成 (温度調整を行う場 合は25℃以上で最低 10ヶ月)	天然醸造で2年以上 (温度調整は行わな い)
仕込み桶	タンク(醸造桶)	木桶のみ(約6トン 仕込める大きさ)
重し	形状は問わない	重石は天然石を円錐 状に約3トン積み上 げること
添加物 (酒精)	登録公示内容に記載 がないが使用してい る	使用していない